

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度第1回 所沢市地域公共交通会議
開 催 日 時	平成29年11月24日(金) 午後1時00分から午後3時00分まで
開 催 場 所	市庁舎 7階 研修室
出 席 者 の 氏 名	佐久間 修 井出 裕美 金子 明実 菅野 景子 鈴木 由紀子 一木 昭憲 山内 智矢 鶴岡 洋 加藤 和伸 藤田 貢 小河 憲司 尾崎 晴男 鈴木 康人 糟谷 守 嶋村 照明 二上 清次
欠 席 者 の 氏 名	飯塚 孝廣 脇田 眞輔 畦地 英樹
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	市民部交通安全課 課長 田中 政美 交通安全課 主査 仲村 哲也

議 題	1 委嘱状交付 2 市長あいさつ 3 正副会長選出 4 諮問 5 議事 (1) 地域公共交通会議について (2) ところバス路線等の見直しについて (3) その他
会 議 資 料	1-1 平成 30 年度市内循環バス「ところバス」路線等の見直し(案)について 1-2 「所沢市における地域公共交通の方向性について」答申 1-3 平成 30 年度市内循環バス「ところバス」路線等の見直し(案) 1-4 平成 30 年度市内循環バス「ところバス」見直し路線図(案) 2 所沢市地域公共交通会議について 3 公共交通の利用状況等に関するアンケート調査票 4 諮問書(写) 5 「ところバス」吾妻循環コースの東村山市域への乗り入れについて(協議) 6 「ところバス」吾妻循環コースの東村山市域への乗り入れについて(依頼) 7 ところバス利用案内(路線図・時刻表) 8 所沢市地域公共交通会議条例 9 所沢市地域公共交通会議委員名簿
担 当 部 課 名	経営企画部：平田部長、粕谷次長 企画総務課：内野課長、山屋室長、緑川主査、大島主任 【事務局】：経営企画部 企画総務課 電話 04-2998-9046

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 正副会長選出 委員の互選により会長は尾崎晴男委員、副会長は二上清次委員にそれぞれ決定した。</p> <p>4 諮問 諮問内容： 「所沢市内循環バス「ところバス」路線等の見直しについて」</p> <p>5 議事 以下、尾崎会長が議長となり進行</p> <p>議事に入る前に、委員によって、下記のことが審議・決定された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議は原則どおりに公開とし、非公開情報に当たる事項があるときは非公開とする。 ・傍聴希望者の確認 傍聴者 7名 ・会議録は、「要約方式」とし、発言した委員名は掲載しない。 ・会議録は、会長の承認をもって確定する。 <p>(1) 地域公共交通会議について</p>
議長	「地域公共交通会議について」事務局から説明をお願いしたい。
事務局	<p>資料 2 に基づき下記の内容を説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議の根拠、意義等 ・これまでの振り返りと答申の説明
議長	事務局からの説明について、質問等はあるか。
委員	公共交通には、鉄道もあると思うがところバスだけの議論であるのか。
事務局	今回の諮問については、来年度のところバスの見直しということで諮問をしているが、会議ではところバスだけではなく、ところバ

委員	<p>スの見直しに伴って、新しい交通手段等の導入についてもご意見をいただきながら検討していきたい。</p> <p>所沢市内には 36 の踏切があり、通学する子供達等市民が不便を強いられている。このようなことも含めて広い視点で議論すべきである。公共交通は、大きな形で話していかないといけない。</p>
議長	<p>資料 1-2 の所沢市における地域公共交通の現状の部分にバス・タクシー・鉄道とあり、鉄道も意識する内容となっている。鉄道については、市域を大きく越える話であることから、具体的に取り上げるのは難しいが駅や踏切といった地域に関わる事情もある。まず諮問されたのは、ところバスについてであり、それを中心に話すか、この会議の中で話し合うテーマとして、鉄道関係も含まれて良いと思う。</p>
委員	<p>交通バリアフリーについて、いろいろと問題がある。国の交通バリアフリー法があり、所沢市交通バリアフリー基本構想もある。交通バリアフリーについてもこの会議の中で議論してほしい。</p>
事務局	<p>バリアフリー新法では、旧法から改正され建物や交通等総合的な法律である。所沢市交通バリアフリー基本構想では、事業計画等規定されている。交通バリアフリーに係ることについては、公共交通を議論していく中で、ご意見をいただければと思う。</p>
議長	<p>先ほどの踏切についてもそうであるが、当会議から短期的、中・長期的な答申をしたわけであるが、バリアフリーの文言はなかったが、現況や将来的なところについて報告をする機会を設けても良いと思う。</p> <p>(2) ところバス路線等の見直しについて</p>
議長	<p>「ところバス路線等の見直しについて」事務局より説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>市では来年度、ところバスの路線等の変更を考えている。路線等の変更の際には、国土交通省関東運輸局の認可が必要であり、本会</p>

	議の了承が必須であるため諮問した。
議長	路線等の変更について、詳しい説明をお願いします。
事務局	ところバスを所管している交通安全課より説明する。
交通安全課	<p>市内循環バス運行事業の概要を説明する。平成8年3月に市議会が請願を採択したことを受け、平成10年5月から、2路線で3つの目的をもとに運行を始めた。その後、概ね5年ごとに見直しを図りながら、現在4路線6コース54便を12台の小型バスを循環させ、年末年始を除き359日運行している。年間利用者総数は、平成28年度は389,587名で所沢市の人口約344,000人であるので、1年間で人口よりも多くの方が利用している。1日当たり1,085名が利用している。</p> <p>平成30年度市内循環バス「ところバス」路線等の見直しについて、資料を基に、経緯や見直しの考え方、見直し案6項目、今後の予定について説明する。</p> <p>なお、見直し案については、今年度、地域公共交通庁内検討委員会を2回開催し、地域公共交通会議に諮ることを承認された内容である。</p> <p>[見直し案6項目について、詳細を説明]</p>
議長	事務局からの説明について、質問等はあるか。
委員	<p>基本的な運用があると思われるが、ところバスに乗ったら楽しく便利であると知ればもっと利用されると思う。</p> <p>なお、1日1,085人の利用があるとのことだが、年代別にどのようなになっているのか。</p>
議長	もっと乗っていただくにはどうしたらよいか。イベントの活用などところバスの魅力をあげられたらということは、今後この会議でも議論できる。利用者の年代を聞くのは難しいことであるが、既存の調査結果等について可能な限り事務局にて用意できればお願いしたい。
委員	6項目の見直しについて説明があり、5,6項目はわかった。他の4

<p>委員</p>	<p>項目について、要望があり見直すことはよいのだが、その効果はわかるのか。</p> <p>東村山市への乗り入れについては、東村山市の市民も有難いことであると思うが、所沢の地元としてもメリットがある。</p>
<p>交通安全課</p>	<p>ところバスは、現在通勤や行楽地に行くために使われている。そのため、土曜、日曜だけ路線を変え行楽地へ行けるようにすることも考えた。また、狭山市では通勤バスという形で通勤者を対象にしている路線もある。そこは、工夫を検討していきたい。しかしながら、ところバスは、3つの目的で運行していることから、その目的を踏まえながら、効率が上げられるか検討していきたい。</p> <p>年代については、東村山市への乗り入れに伴い、吾妻コース 100人程度の乗降者にアンケートをした結果があるが、その中で 70 歳以上が 54%、60 歳代が 15%、と約 70%が 60 歳以上の方の利用であった。</p> <p>また、今回見送った 4 項目は、ところバスと路線バスが重複する箇所の要望や渋滞により定時性が保てなくなる箇所の要望、停留所の変更や現在利用している方への影響が大きく関係機関や地域等との調整に時間を要するため、見送ることとした。</p>
<p>委員</p>	<p>所沢駅西口まちづくりの関係で渋滞が想定でき、ところバスが遅れることになる。このような情報を市と運転手とが共有することが重要である。関係部署や機関で情報共有を図ってほしい。</p>
<p>議長</p>	<p>公共交通機関というのは、定時性の確保が重要であり、また渋滞を減らすという効果もある。</p>
<p>交通安全課</p>	<p>情報共有を図っていく。</p>
<p>委員</p>	<p>バスの交通安全対策はどうなっているのか。</p> <p>また、市内の鉄道の利用者数と駅周辺の住んでいる人数とバスの運行の関係はマッチしているのか。</p> <p>今後、病院などへの乗り入れやアクセスなどについても考えていければと思う。</p>

交通安全課	<p>安全対策について、乗用車のようなセンサー等、バスの機能的な充実については財政部門と協議をしていきたい。</p> <p>アクセスについては、鉄道には時刻の表示がでているが、ところバスには時刻の表示がないので、今後、西武鉄道や西武バスと検討していきたい。</p>
委員	<p>ハード的な安全対策は、現在バスには自動ブレーキなど付いていない。バス車両の装備は、自家用車レベルには届いていない現状である。今後メーカー側がハード的な安全対策について研究、開発を進めていると聞いている。国から法令等で定められているが、当社でもしっかりとした教育を社員に実施しており、入社時も入社後のベテランにも定期的に教育訓練をしている。利便性について、路線バスは、バスロケーションシステムを利用しており、バスの時刻表も検索できるようにしている。しかし、ところバスにはそのサービスは行き届いていないが、ランニングコストも掛かることから所沢市と協議をしていきたい。</p>
委員	<p>ところバスを使う人がなぜ利用するのか。この会議では、路線ごとに目的を知っておく必要があるので、なぜ乗るのか、どこに行くのか、何時頃利用するのか、利用者の年代はどうかといった調査結果があれば、会議の中で前向きな話ができると思う。</p>
交通安全課	<p>先の東村山への延伸を検討する中で行ったアンケート調査において利用目的を確認している。買い物 が 34%、通院が 28%、その他公共施設が 11%、通勤・通学が 8%となっている。今後、抜本的な改革には必要な情報であるので、関係機関等と連携を図りながら考えていく。</p>
委員	<p>バス停は近いが、乗らない方が多い。乗る人を増やしていくためには、どうして乗らないのかも調査する必要があるのではないか。</p>
議長	<p>乗っている人に聞くことも大事であるが、乗らない人にも聞いた方がよいとの意見である。そういう方は、潜在的に乗るかもしれないということである。市でも調査を行っているようだが、今までの結果等も委員に情報提供をお願いしたい。</p> <p>なお、今回の諮問事項については、今後パブリックコメントも実</p>

	<p>施するということであるので、その結果も踏まえ、次回の会議で結論を出すことにする。引き続きご意見等があれば事務局にお願いしたい。</p> <p>(3) その他について</p>
議長	<p>「その他について」事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>資料3の運転免許自主返納者に対するアンケート調査について説明する。このアンケート調査は、所沢警察に協力いただき、運転免許証の自主返納者に対し、平成28年12月から平成29年12月まで行う。詳細な調査結果は、12月まで行った後に集計を行い、次回の会議で報告する。なお10月末日現在では、1,154通配布し535通が返信されてきた。約46%の回収率である。また来年度は、広く市民を対象としたアンケート調査を実施する方向で調整したい。</p>
議長	<p>次回の会議に結果報告をお願いする。その他、事務局から何かあるか。</p>
委員	<p>次回の地域公共交通会議は、2月中に開催を予定している。</p>
議長	<p>以上で議事を終了します。</p>
事務局	<p>以上で、平成29年度第1回 所沢市地域公共交通会議を終了します。</p> <p>閉会</p>